

## コミュニティ・スクール事業

平成 25 年度に始まった「コミュニティ・スクール事業」は、今年度で 6 年目となりました。市教育委員会では、この事業を通して、もともと地域との結びつきが強い富山市の学校の特徴を生かしながら、地域や保護者との連携をより深め、学校教育活動を充実させたいと考えています。

今年度は新たに、コミュニティ・スクール（以下「CS」という）正式校に五福小学校、興南中学校を、モデル校に和合中学校、大沢野中学校を加え、CS が 10 校となりました。

市教育委員会では、この事業の効果を設置校以外にも広げるため、毎年、富山市 CS 研修会を開催しています。1 月 23 日に行った今年度の研修会では、大沢野中学校から、組織づくりや、大山賢一 CS マイスターを招聘しての研修会等の取り組みが紹介されました。

また、講師としてお招きした井上尚子 CS マイスターには、「地域とともにある学校」と題して、杉並区立天沼小学校での実践を基に、CS とは何か、地域と学校の連携・協働をどのように進めていくのかなどについて、ご講演いただきました。

さらに、今年度は、井上 CS マイスター、堀川中学校学校運営協議会委員の藤井孝昭氏、藤ノ木中学校の道正校長先生の 3 名をシンポジストとして、また、神明小学校の國香校長先生をコーディネーターとして、シンポジウムを行いました。学校評議員会と学校運営協議会との違い、CS を立ち上げる際の課題をどのように解決したのか、実際に CS になって分かったそのよさや地域や学校の変化等について、それぞれの立場からご意見を伺いました。

平成 29 年度の法改正により、その設置が努力義務となり、全ての学校が CS となって、地域と共にある学校づくりを推進することが求められている中、具体的なアドバイスをいただくことができました。今後、各学校において CS のよさや課題について検討し、準備に生かしていただきたいと考えています。



<コミュニティ・スクール研修会  
シンポジウムの様子>

## 教育センター発

### 来年度より小学校に校務支援システムを導入します

小学校に、平成 31 年度より、校務支援システム（株式会社 EDUCOM C 4 th）を導入します。導入する校務支援システムには、次のような特徴があります。

#### 業務の簡素化

- ・指導要録は電子データで保存
- ・出席簿と連動することで、月例報告等の作成の簡略化

#### ユニバーサル化

- ・安定したシステム
- ・業者の専門家による電話対応

#### 便利な機能

- ・連絡掲示板等の活用
- ・帳票の電子化による学校間の連携

昨年 9 月より、小学校の先生方に参加していただき、校務支援システム導入推進会議を行ってきました。現場にとってどのような内容になればよいか、話し合いを重ねました。

本システムの導入における大きな利点は、電子化により学校間のデータのやりとりが可能であるということです。例えば、富山市内であれば、転出入事務において指導要録をそのまま C 4 th 内でやりとりをすることができます。また、小・中学校間での指導要録抄本のやりとりも同様になります。

各小学校では、1 月より校内研修や準備等が行われました。4 月から本システムが活用され、子どもたちや教職員にとってますます充実した学校生活、教育活動になることを願っています。



<概要説明・操作研修会より>